

平成26年2月13日

杉並区議会議長
大泉 時男 様

文化芸術・スポーツに関する特別委員会
委員長 安齊 あきら

文化芸術・スポーツに関する特別委員会活動経過報告書

文化芸術・スポーツに関する特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

平成25年12月4日 報告聴取

2 活動経過

(1) 杉並区文化人アーカイブ事業について

平成22年8月に文化・芸術振興に関する懇談会から、「杉並の輝き度を高めるために」という報告書が出され、これを踏まえ、今年度から杉並区文化人アーカイブ事業を実施することになったとのこと。

事業の目的は、杉並区にゆかりのある文化人、芸術家に焦点をあて、杉並区の貴重な文化財産として保存するとともに、杉並区の文化的な魅力を効果的に区内外に発信していくとのこと。

今年度制作する文化人、芸術家は、彫刻家の橋本堅太郎氏、洋画家の佐野ぬい氏、染織家の佐々木苑子氏の3人であるとのこと。

制作作品の内容としては、世代を超えて理解しやすく、杉並のまちへの愛着や誇りと希望を見出していくことができる映像構成とし、文化・芸術の薫り高いまちとしての認知度の向上を図ることができる発信力の高い内容とするとのこと。作者の作品に対する思いや、文化・芸術の裏にある人間の思いの深さを知ることができる構成にし、実際に作品を見ることができる場所、文化人とかかわりが深い杉並のまちなどを紹介し、文化人ゆかりのまちをたどれるような内容としていくとのこと。

映像コンテンツは、一般の人たちへの視聴、または、教材的な用途とする15分の通常版、記録性を高め、文化人の全体が網羅された45分から60分のロング版、気軽に興味関心を持てるものとして1分程度のショート版を作成するとのこと。

制作委託事業者の選定にあたっては、公募型プロポーザルを行い、株式会社文化工房を選定したとのこと。

制作スケジュールとしては、11月中旬に事前取材とシナリオ作成を行い、12月から2月にかけて編集と試写をして、3月中の納品なるとのこと。この映像作品は、DVDを区内の全小中学校及び図書館に配布するとともに、区公式ホームページへの通常版の掲載、文化・交流課での貸出を行い、区内外へ発信していくとのこと。

(2) 杉並区中学校対抗駅伝大会2013の開催について

平成25年12月8日に杉並区中学校対抗駅伝大会2013を開催するとのこと。コースは、第1区から第5区までの5区間設定し、昨年から行っているように済美山運動場を出発して、戻ってくるという周回コースであるが、今回上流のほうで工事があるということで下流のほうを使うコースになったとのこと。

当日のスケジュールについては、9時に集合、開会式を9時半、女子のスタートが10時、男子のスタートが11時で、おおむね13時に終了を予定しているとのこと。

(3) スポーツと介護予防について

介護予防について、24年度実績は、高齢者施策課で6事業、スポーツ振興財団で15事業、上井草スポーツセンターで11事業を行ったとのこと。

効果としては、仲間づくり、地域づくりにつながっていること、生きがいづくりや地域交流に寄与していること、長年医者通いをしていた方が、体操教室に通ったら医者いらずになったことがあるとのこと。

課題等については、対象を16歳以上や大人としても、参加者の多くが高齢者となっていること、人気の高い体操教室は、リピータが多く、落選者への対応が課題であること、体育館以外の場の確保、各分野での取り組みや情報等の連携が課題であることがあげられるとのこと。

(4) スポーツと食育について

食育については、24年度実績は、健康推進課で2事業、各保健センターで17事業、上井草スポーツセンターで2事業を行ったとのこと。

効果は、健康や食生活・運動等についての知識の習得や体験で、健康的な生活習慣へのきっかけにつながったこと、体調管理やバランスのとれた食生活などを、実践を通して学ぶ機会となったこと、トップチームに所属の栄養アドバイザーからの講義が指導者への栄養の大切さを伝える良い機会となっていることであるとのこと。

課題等は、メタボリックシンドローム予防・改善教室では、参加を望まれる対象層の幅が広く、参加するには、開催日や開催時間などの工夫が必要となっていること、1日だけの単発の講座は気づきにはなったが、継続につながっていくには、課題があること、年代別健康教室は、子育て世代の女性が多いため、子連れ参加可能なことや親子で参加できる講座への要望があったことがあるとのこと。

以上のとおり、4件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

以上